



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 エコミック
コード番号 3802 URL <https://www.ecomic.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札
TEL 011-206-1103

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	670	1.1	161		145		120	
2023年3月期第2四半期	677	41.7	151		148		104	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 103百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 89百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	31.47	
2023年3月期第2四半期	27.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	1,483	1,174	79.1	306.49
2023年3月期	1,717	1,299	75.7	340.58

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,174百万円 2023年3月期 1,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		8.00	8.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,393	8.0	225	10.4	237	7.6	175	2.8	45.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は事業の性質上、業績は下半期に偏重する傾向にあります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,831,200 株	2023年3月期	3,815,600 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	60 株	2023年3月期	60 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,820,143 株	2023年3月期2Q	3,802,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 311「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどにより、景気が緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当業界におきましては、完全失業率の上昇や有効求人倍率の低下、定期給与及び現金給与総額の増加など、雇用・所得環境が変化する中で、企業の人材不足や労働環境の変化、SDGsへの取組み等を背景に、企業の効率化、省力化への動向が続き、事業再構築やBCP（事業継続計画）の手段としてのアウトソーシングニーズは引き続き高い状況でありました。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対しバックヤード業務に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、HRテックの導入などのDXの推進や、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく、「バックヤード業務のソリューションプロバイダー」として付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。また、社員一人ひとりが顧客企業に対して提供すべき価値をエコミックブランドステートメントとして定め、「信用と品質に基づくプロ集団が、ソリューションを提供する」という方針のもと、顧客企業へのソリューション提案を強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は670,253千円（前年同四半期比1.1%減）、営業損失は161,151千円（前年同四半期は営業損失151,674千円）、経常損失は145,896千円（前年同四半期は経常損失148,667千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は120,235千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失104,289千円）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(BPO事業)

BPO事業については、前連結会計年度に引き続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。前年同四半期に比べ、給与計算処理人数が増加した一方、新規顧客の導入関連売上が減少し、BPO事業の売上高は608,345千円（前年同四半期比1.9%減）、営業損失は157,317千円（前年同四半期は営業損失142,952千円）となりました。

(ソフトウェア・ハードウェア開発事業)

ソフトウェア・ハードウェア開発事業については、株式会社ビズライト・テクノロジーの主力事業としてAI及びIoTに関連するハードウェア製品、ファームウェア開発、そして受託ソフトウェア開発等を行っております。当第2四半期累計期間においては、受託システム開発及びシステム保守が売上高の大半を占めており、ソフトウェア・ハードウェア開発事業の売上高は61,907千円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は7,396千円（前年同四半期は営業損失527千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して224,509千円減少し1,046,818千円となりました。これは主に現金及び預金が190,561千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比較して9,167千円減少し437,093千円となりました。これは主に繰延税金資産が37,364千円増加した一方、工具、器具及び備品が13,344千円減少、ソフトウェアが17,442千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,483,912千円となり、前連結会計年度末に比べ233,676千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して73,635千円減少し204,213千円となりました。これは主に賞与引当金が35,172千円増加した一方で、その他の流動負債が104,628千円減少したことによるものであります。固定負債は105,477千円となり、前連結会計年度末に比べ34,773千円減少いたしました。これは主に長期借入金30,698千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は309,690千円となり、前連結会計年度末に比べ108,408千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して125,268千円減少し1,174,221千円となりました。これは主に利益剰余金が150,760千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は79.1%（前連結会計年度末は75.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月10日に発表いたしました2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,049,289	858,727
受取手形及び売掛金	166,408	120,466
製品	5,993	9,385
仕掛品	446	—
原材料	3,886	1,222
その他	45,385	57,083
貸倒引当金	△82	△67
流動資産合計	1,271,328	1,046,818
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品 (純額)	81,919	68,574
その他 (純額)	9,463	8,701
有形固定資産合計	91,382	77,276
無形固定資産		
ソフトウェア	205,560	188,118
のれん	63,970	56,134
その他	4,694	5,454
無形固定資産合計	274,225	249,707
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,384	45,749
敷金及び保証金	36,818	34,320
その他	35,450	30,040
投資その他の資産合計	80,652	110,109
固定資産合計	446,260	437,093
資産合計	1,717,589	1,483,912
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,113	38,513
1年内返済予定の長期借入金	33,930	25,806
未払金	42,863	14,756
未払法人税等	6,508	22,161
賞与引当金	—	35,172
その他	172,433	67,804
流動負債合計	277,848	204,213
固定負債		
長期借入金	132,223	101,525
繰延税金負債	5,288	1,211
その他	2,738	2,741
固定負債合計	140,250	105,477
負債合計	418,099	309,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,501	368,791
資本剰余金	199,416	203,706
利益剰余金	703,055	552,295
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,266,937	1,124,757
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32,552	49,464
その他の包括利益累計額合計	32,552	49,464
純資産合計	1,299,489	1,174,221
負債純資産合計	1,717,589	1,483,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	677,386	670,253
売上原価	573,075	578,519
売上総利益	104,310	91,733
販売費及び一般管理費	255,985	252,884
営業損失(△)	△151,674	△161,151
営業外収益		
受取利息	420	1,304
助成金収入	1,557	6,201
保険解約返戻金	—	6,437
その他	1,689	6,726
営業外収益合計	3,668	20,669
営業外費用		
支払利息	577	692
為替差損	—	4,374
その他	82	346
営業外費用合計	660	5,414
経常損失(△)	△148,667	△145,896
税金等調整前四半期純損失(△)	△148,667	△145,896
法人税等	△44,377	△25,660
四半期純損失(△)	△104,289	△120,235
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△104,289	△120,235

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△104,289	△120,235
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,442	16,911
その他の包括利益合計	14,442	16,911
四半期包括利益	△89,847	△103,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,847	△103,323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△148,667	△145,896
減価償却費	51,645	52,446
のれん償却額	6,530	7,836
保険解約損益 (△は益)	—	△6,436
賞与引当金の増減額 (△は減少)	56,126	35,172
売上債権の増減額 (△は増加)	1,416	47,117
営業債務の増減額 (△は減少)	35,644	16,399
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,449	△281
未払費用の増減額 (△は減少)	△52,299	△72,427
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39,228	△39,846
前払費用の増減額 (△は増加)	128	△6,099
未払金の増減額 (△は減少)	1,776	△12,842
預り金の増減額 (△は減少)	192	8,084
その他	16,397	△66
小計	△74,785	△116,841
法人税等の支払額	△43,161	△1,997
法人税等の還付額	3,592	6,325
その他	△153	284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,507	△112,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,452	△20,599
無形固定資産の取得による支出	△25,078	△16,150
敷金及び保証金の差入による支出	△8,487	—
敷金及び保証金の回収による収入	16,645	2,480
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	109,605	—
保険積立金の解約による収入	—	15,472
長期性預金に預入による支出	△1,500	△1,800
その他	△297	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	82,435	△20,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17,554	△38,822
社債の償還による支出	△7,000	—
配当金の支払額	△22,705	△30,102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,260	△68,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,351	11,068
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△65,980	△190,561
現金及び現金同等物の期首残高	824,986	1,049,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	759,005	858,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。